

地方分権改革に関する研修会への講師派遣（大分県庁）

【日 時】 平成29年7月24日(月) 9:30～16:30【講義・演習】

【場 所】 大分県庁 新館5階51会議室

【参加者】 大分県内の市町職員 27名

【講 師】

内閣府地方分権改革推進室

参事官 岩間 浩、調査員 松本 直樹（堺市から派遣）

調査員 西 亮太（埼玉県から派遣）

【概 要】

○研修会では「“地域の課題発見・解決能力”を磨く」「提案募集方式のポイント」と題して、地方分権改革・提案募集方式について説明した。

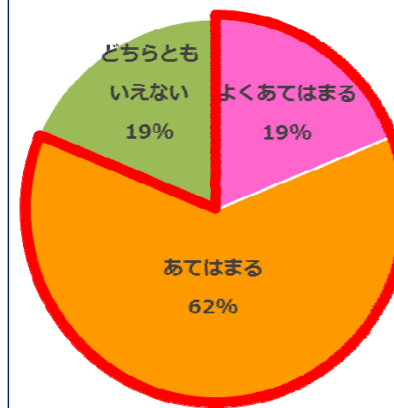
「“地域の課題発見・解決能力”を磨く」では、主に地方分権の歩みや成果などについて説明した。「提案募集方式のポイント」では実際に提案を担当している松本調査員から、実事例を踏まえた「支障事例の重要性」等について説明した。また、「地方公共団体の提案に対する3つの支援ツール」として分権室で運用している「提案募集方式データベース」や「地方分権改革・提案募集方式ハンドブック」、「地方分権改革事例集」の具体的な活用方法等も紹介した。

○その後「平成30年提案募集に向けた取組について」というテーマでグループディスカッションを行った。西調査員の進行により、日頃の業務で実感したことのある課題や問題意識を班内で共有し、最終的には関係法令を意識しながら、提案募集によって課題が解決された場合に期待される効果や住民サービスの向上などの視点から、グループで深めていただいた議論の内容を発表いただいた。

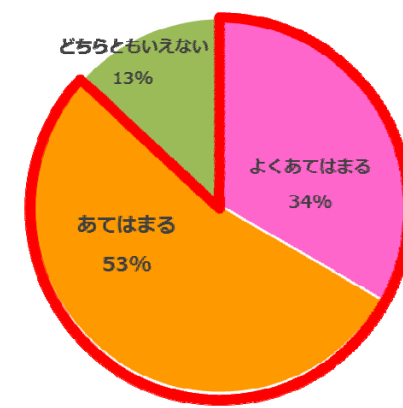


↑松本調査員による説明

＜受講者アンケート結果＞
Q. 本研修を職場同僚に勧めたい Q. 研修プログラム全体に満足した



お勧め度 81%



満足度 87%